

<p>諮問内容及び審議期間</p>	<p>「変化する社会情勢に適応し特別区消防団の組織力を向上させ住民の負託に応え続ける方策はいかにあるべきか」 【審議期間】 令和5年8月から令和7年3月まで（1年8か月）</p>																		
<p>実施時期</p>	<p>【渋谷区】 第1回：令和6年2月6日（集合形式） 第2回：令和6年8月23日（集合形式） 第3回：令和7年1月30日（集合形式）</p>																		
<p>答申概要と対応方針</p>	<p>【特別区消防団運営委員会の答申を踏まえた対応方針】 凡例 ■R7年度～ ■導入に向けた検討等 □継続して推進</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #e1eef6;"> <th colspan="2" style="text-align: left;">I 活動を継続したいと思える組織の活性化方策関係</th> </tr> <tr style="background-color: #e1eef6;"> <th style="width: 45%;">審議項目</th> <th style="width: 55%;">対応方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;">1 訓練や都民指導の推進と負担軽減</td> <td style="vertical-align: top;"> ⇒ <ul style="list-style-type: none"> □ 方面訓練場や署訓練施設の活用等、地域特性に応じた実戦的な訓練の推進 □ 工夫した訓練の取組紹介による時勢に応じた活動の推進 □ 火災出場時の確実な水利部署、積極的な消火活動の推進 ■ 災害や火災予防等の防災知識の向上 (総合防災部と連携したアプリやマイタイムラインの普及等) □ 防災訓練や総合防災教育における都民指導の推進 ■ 新たな消防団点検の試行による団員一人ひとりの訓練機会の創出と負担軽減 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">2 講習や研修の充実</td> <td style="vertical-align: top;"> ⇒ <ul style="list-style-type: none"> ■ 機関員技術や各種資機材取扱い技術の新たな講習や研修の検討 ■ 可搬ポンプ実技講習の実施による消火活動力の向上と拡大の検討 □ 特殊技能団員や研修受講者による消防団内での教養の推進 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">3 処遇の改善</td> <td style="vertical-align: top;"> ⇒ <ul style="list-style-type: none"> ■ 転居、転勤等により在団資格を失うこととなった場合においても継続して活動できる体制整備 ■ 処遇改善のための費用弁償の増額 □ 大規模災害団員の普及促進による入団促進・退団抑制 </td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #fce4d6;"> <th colspan="2" style="text-align: left;">II 活動環境の充実・改善方策関係</th> </tr> <tr style="background-color: #fce4d6;"> <th style="width: 45%;">審議項目</th> <th style="width: 55%;">対応方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;">1 DX化の推進等</td> <td style="vertical-align: top;"> ⇒ <ul style="list-style-type: none"> ■ タブレット端末更新に合わせた音声マイニングツールや多言語ツール導入に向けた検討による利便性の向上 ■ 出場指令や各種連絡事項を個人スマホで受信できる消防団専用アプリの市場調査の実施による導入に向けた検討 ■ MCA無線機の更新機種及び各種無線機類の配置の最適化に向けた検討 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">2 より活動しやすい資機材への発展的更新</td> <td style="vertical-align: top;"> ⇒ <ul style="list-style-type: none"> ■ ISO規格に準拠した新型防火服導入による安全性・機動力の向上 ■ 防火帽への階級標示シールによる消防署隊との連携強化の推進 □ 既存資機材の更新に合わせた軽量化・電動化や耐久性の向上 □ 女性団員が活動しやすい環境（施設・服制）の整備推進 </td> </tr> </tbody> </table>	I 活動を継続したいと思える組織の活性化方策関係		審議項目	対応方針	1 訓練や都民指導の推進と負担軽減	⇒ <ul style="list-style-type: none"> □ 方面訓練場や署訓練施設の活用等、地域特性に応じた実戦的な訓練の推進 □ 工夫した訓練の取組紹介による時勢に応じた活動の推進 □ 火災出場時の確実な水利部署、積極的な消火活動の推進 ■ 災害や火災予防等の防災知識の向上 (総合防災部と連携したアプリやマイタイムラインの普及等) □ 防災訓練や総合防災教育における都民指導の推進 ■ 新たな消防団点検の試行による団員一人ひとりの訓練機会の創出と負担軽減 	2 講習や研修の充実	⇒ <ul style="list-style-type: none"> ■ 機関員技術や各種資機材取扱い技術の新たな講習や研修の検討 ■ 可搬ポンプ実技講習の実施による消火活動力の向上と拡大の検討 □ 特殊技能団員や研修受講者による消防団内での教養の推進 	3 処遇の改善	⇒ <ul style="list-style-type: none"> ■ 転居、転勤等により在団資格を失うこととなった場合においても継続して活動できる体制整備 ■ 処遇改善のための費用弁償の増額 □ 大規模災害団員の普及促進による入団促進・退団抑制 	II 活動環境の充実・改善方策関係		審議項目	対応方針	1 DX化の推進等	⇒ <ul style="list-style-type: none"> ■ タブレット端末更新に合わせた音声マイニングツールや多言語ツール導入に向けた検討による利便性の向上 ■ 出場指令や各種連絡事項を個人スマホで受信できる消防団専用アプリの市場調査の実施による導入に向けた検討 ■ MCA無線機の更新機種及び各種無線機類の配置の最適化に向けた検討 	2 より活動しやすい資機材への発展的更新	⇒ <ul style="list-style-type: none"> ■ ISO規格に準拠した新型防火服導入による安全性・機動力の向上 ■ 防火帽への階級標示シールによる消防署隊との連携強化の推進 □ 既存資機材の更新に合わせた軽量化・電動化や耐久性の向上 □ 女性団員が活動しやすい環境（施設・服制）の整備推進
I 活動を継続したいと思える組織の活性化方策関係																			
審議項目	対応方針																		
1 訓練や都民指導の推進と負担軽減	⇒ <ul style="list-style-type: none"> □ 方面訓練場や署訓練施設の活用等、地域特性に応じた実戦的な訓練の推進 □ 工夫した訓練の取組紹介による時勢に応じた活動の推進 □ 火災出場時の確実な水利部署、積極的な消火活動の推進 ■ 災害や火災予防等の防災知識の向上 (総合防災部と連携したアプリやマイタイムラインの普及等) □ 防災訓練や総合防災教育における都民指導の推進 ■ 新たな消防団点検の試行による団員一人ひとりの訓練機会の創出と負担軽減 																		
2 講習や研修の充実	⇒ <ul style="list-style-type: none"> ■ 機関員技術や各種資機材取扱い技術の新たな講習や研修の検討 ■ 可搬ポンプ実技講習の実施による消火活動力の向上と拡大の検討 □ 特殊技能団員や研修受講者による消防団内での教養の推進 																		
3 処遇の改善	⇒ <ul style="list-style-type: none"> ■ 転居、転勤等により在団資格を失うこととなった場合においても継続して活動できる体制整備 ■ 処遇改善のための費用弁償の増額 □ 大規模災害団員の普及促進による入団促進・退団抑制 																		
II 活動環境の充実・改善方策関係																			
審議項目	対応方針																		
1 DX化の推進等	⇒ <ul style="list-style-type: none"> ■ タブレット端末更新に合わせた音声マイニングツールや多言語ツール導入に向けた検討による利便性の向上 ■ 出場指令や各種連絡事項を個人スマホで受信できる消防団専用アプリの市場調査の実施による導入に向けた検討 ■ MCA無線機の更新機種及び各種無線機類の配置の最適化に向けた検討 																		
2 より活動しやすい資機材への発展的更新	⇒ <ul style="list-style-type: none"> ■ ISO規格に準拠した新型防火服導入による安全性・機動力の向上 ■ 防火帽への階級標示シールによる消防署隊との連携強化の推進 □ 既存資機材の更新に合わせた軽量化・電動化や耐久性の向上 □ 女性団員が活動しやすい環境（施設・服制）の整備推進 																		

答申概要と対応方針

Ⅲ 計画的な消防団員育成方策		
審議項目		対応方針
1 教育訓練の改善	⇒	<input type="checkbox"/> 指揮幹部課研修終了団員による各消防団における訓練内容や指導体制等の主体的な検討促進 <input checked="" type="checkbox"/> 新入団員への東京消防団 e-ラーニングシステムによる基礎教育の充実（試行） <input checked="" type="checkbox"/> 消防救助機動部隊への視察研修の実施による意識醸成 <input type="checkbox"/> 実戦的な訓練の継続した推進 <input type="checkbox"/> 実戦的な訓練と操法訓練のバランスなど消防団による主体的検討 <input checked="" type="checkbox"/> 新たな消防団点検の試行による検証
2 教材の充実		<input checked="" type="checkbox"/> CG動画制作等による現場判断力や安全管理能力の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 東京消防団 e-ラーニングシステムのコンテンツの更なる充実 <input checked="" type="checkbox"/> 災害現場で有圧水利等に部署する際の可搬ポンプ運用要領の整備
Ⅳ 消防団を地域住民により知ってもらう方策		
審議項目		対応方針
1 地域や学校教育への参画	⇒	<input type="checkbox"/> 総合防災教育における消防団員講師による防災の普及啓発の推進 <input type="checkbox"/> 学校ネットワーク等を活用した地域連携への参画 <input type="checkbox"/> 防火防災訓練や総合防災教育における防火防災指導の推進 <input type="checkbox"/> 災害時における積極的な水利部署、下命に基づく放水活動の推進 <input type="checkbox"/> 各区等と連携した消防団の地域貢献や協力事業所等の周知
2 募集広報の推進		<input type="checkbox"/> 総合防災部、各区等と連携した多角的な広報の推進 <input type="checkbox"/> X（旧 Twitter）、YouTube 等の SNS を活用した消防団活動の募集広報の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 声掛けによる募集広報の機会を更に創出するため、団員募集カードの導入 <input checked="" type="checkbox"/> 特別区消防団トライアル（体験実習）の導入に向けた検討 <input checked="" type="checkbox"/> 各防災関係機関（日本郵政、自衛隊等）と連携した入団促進